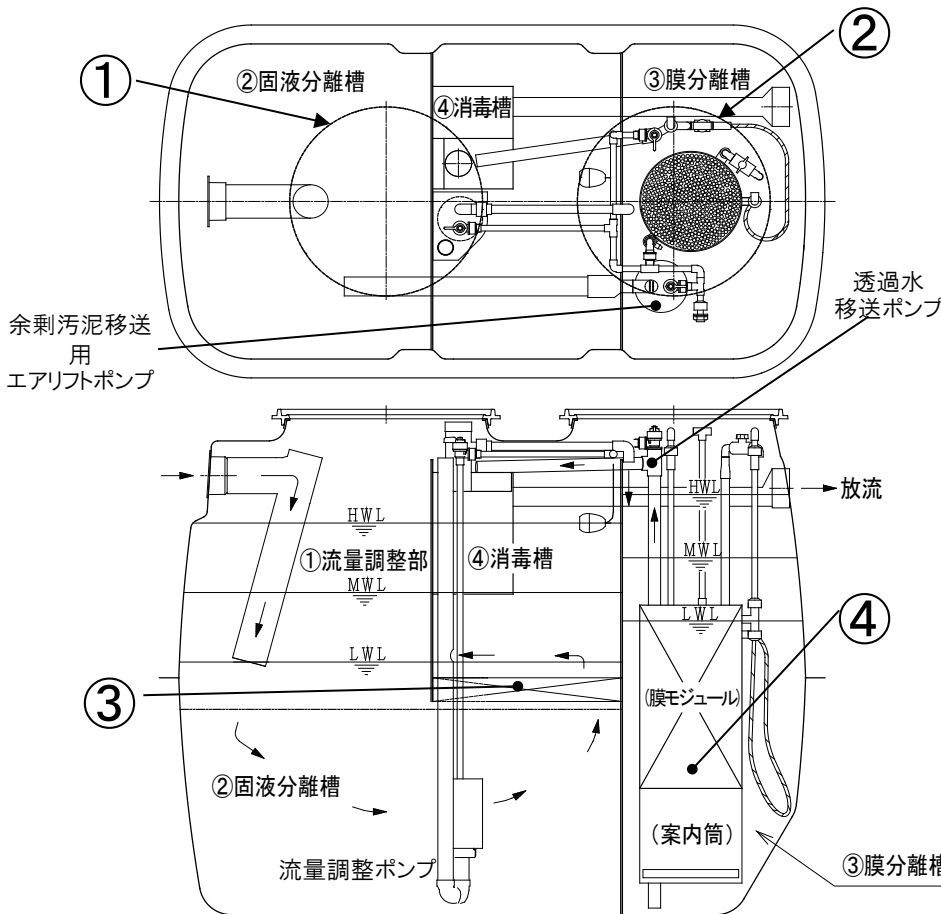
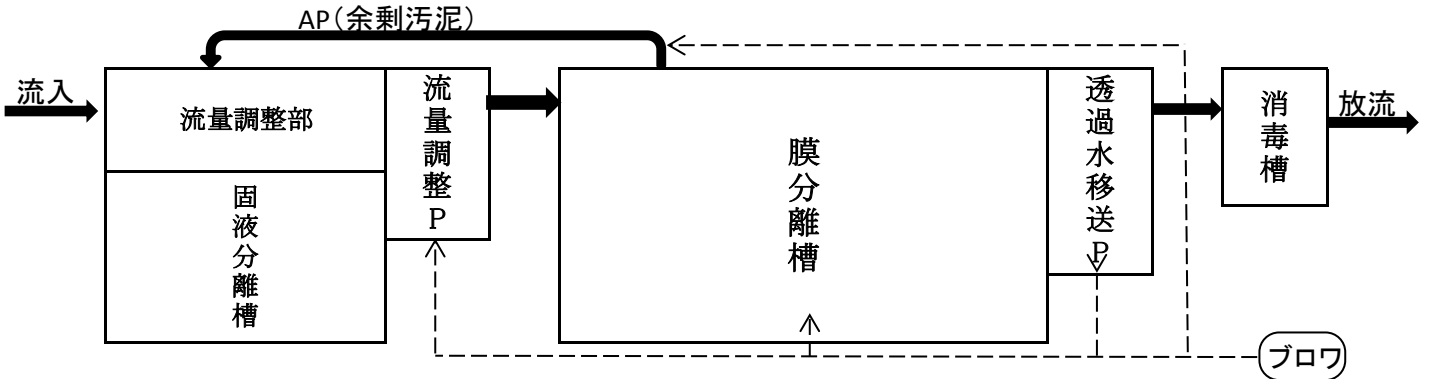


MB フジクリーン工業(株)
 OEM: なし
 共同開発: なし
 処理方式: 重力ろ過式膜分離型活性汚泥方式
 5・7・10人槽

BOD高度処理型

全浄協登録値

BOD	SS	T-N
5mg/L以下	—	—
性能評定または性能評価値		
BOD	SS	T-N
5mg/L以下	5mg/L以下	—



- ① 固液分離槽
- ② 膜分離槽
- ③ 固液分離槽ろ材
- ④ 膜モジュール

有効容量 (m ³)		5人槽	7人槽	10人槽
槽名	固液分離槽 (L.W.L)	0.987	1.377	2.114
	膜分離槽 (H.W.L)	0.631	0.885	1.286
	(M.W.L)	0.538	0.756	1.091
	(L.W.L)	0.437	0.616	0.885
	消毒槽			0.021
合計		2.178	3.038	4.585

槽底部からろ材受け面までの距離 (mm)	固液分離槽	675
----------------------	-------	-----

流量調整装置	流量調整バルブ目盛(%)			透過水バルブ目盛(%)	汚泥移送用バルブ目盛	散気バルブ目盛	散気洗浄用バルブ目盛	透過開閉用バルブ目盛
	5人	7人	10人					
有	15	17.5	30	50	閉	開	閉	開

人槽	ブロウ風量(ℓ/分)
5	150
7	200
10	350

[実使用人員に対する流調水量の設定範囲]

実使用人員(人)		5	7	10
膜分離槽水位	固液分離槽水位	移送水量(ℓ/分)		
	水位			
L.W.L	L.W.L	1.1~1.4	1.4~1.7	1.6~2.0
	M.W.L	1.3~1.6	1.5~1.9	1.8~2.3
	H.W.L	1.3~1.6	1.5~1.9	1.8~2.3
M.W.L	L.W.L	1.4~1.7	1.6~2.0	1.9~2.4
	M.W.L	1.7~2.1	2.0~2.5	2.4~3.0
	H.W.L	1.8~2.3	2.2~2.7	2.6~3.3
H.W.L	L.W.L	1.5~1.9	1.8~2.3	2.2~2.7
	M.W.L	2.0~2.5	2.4~3.0	2.9~3.6
	H.W.L	2.2~2.7	2.6~3.2	3.1~3.9

種汚泥投入量

種汚泥MLSS濃度(mg/ℓ)	膜分離間欠ばっ気槽に残す清水位(mm)	種汚泥投入量(ℓ)		
		5人	7人	10人
3,000	0	540	760	1,090
4,000	350	410	570	820
5,000	500	330	460	650
6,000	600	270	380	550
7,000	650	240	330	470
8,000	700	210	290	410
9,000	800	180	260	360
10,000	800	170	230	330
12,000	850	140	190	270
15,000	900	110	160	220
20,000	950	90	120	160

流量調整移送水量は、(1)使用水量(日平均汚水量)(2)実使用人員(3)人槽の優先順位で判断して上記の範囲になるように調整してください。

特徴

固液分離槽 大きな固形物、油脂等の固液分離を行う。流出部の槽中央部に充填された網様マット状ろ材により捕捉される。流出水はろ材上部の取水口より揚水され間欠定量ポンプによって膜分離槽に移送される。槽上部が流量調整部となっており水位変動する。H.W.Lとなると警報装置が作動する。

膜分離槽 中心ばっ気にて活性汚泥が攪拌混合され、BOD除去されます。槽上部は水位変動し、水頭差にて膜分離装置を通過し重力ろ過されます。余剰汚泥は槽内に設置されたエアリフトポンプにて固液分離槽に移送されます。

膜分離装置 約625本の管状膜からなる膜モジュールと散気管、案内筒などで構成されています。透過水は消毒槽に移送されます。

作業時のポイント

保守点検

- ①固液分離槽にスカム、堆積汚泥の状況を確認し、清掃時期の判断を行ってください。網様マット状ろ材が閉塞している場合は空気洗浄(逆洗)を行ってください。警報用フロートスイッチの動作確認を行ってください。
- ②流量調整ポンプの移送水の性状を確認してください。バルブ開度を点検し、移送水量(1.6ℓ/回)を実測して確認してください。必要に応じてポンプ、配管を洗浄し洗浄後移送水量の再確認してください。
- ③移送水量を上表の水量になるよう実測して調整してください。
- ④膜分離槽槽内攪拌状況の確認後、槽内MLSSを3,000mg/ℓ~12,000mg/ℓの範囲であることの確認をします。MLSS濃度が著しく高く、なおかつ固液分離槽堆積汚泥が45cm未満の場合はエアリフトポンプ等で固液分離槽に移送してください。膜分離装置のバルブ開度、膜分離装置透過水の性状、水量の点検を行ってください。透過水量等の不足がある場合は膜表面の汚泥を除去し、場合により槽外に取り出して洗浄してください。なお膜モジュールは、必要に応じて薬品洗浄(約6ヶ月に1回)実施してください。

清掃

- ①膜分離型浄化槽である為、6ヶ月に1回以上清掃実施してください。(保守点検は3ヶ月に1回以上)
- ②固液分離槽の汚泥は全量引き出してください。膜分離槽は通常水位時MLSSが3,000mg/ℓ程度に調整してください。